

ずしスポ推だより

- 第15号 -

平成31年度総会報告

平成31年度、逗子市スポーツ推進委員協議会総会が四月十二日(金)に行われ、平成30年度事業・決算報告、平成31年度の事業計画・予算が承認されました。今年度も市からの助成金は無く、各委員からの会費で活動しますが、前年度の繰越金を考慮して会費を下げました。詳しくは総会資料を見てください。

平成最後の年の活動メモリー

関東スポーツ推進委員大会

六月八日(金)・九日(土)、墨田区総合体育館メインアリーナで、関東7都県と山梨・長野県の約2千名の参加で開催。八日の式典で、「関東スポーツ推進委員協議会功労者表彰」に、逗子から池子地区の小南博明さんが表彰されました。その後、「スポーツ参画人口の拡大に向けて」をテーマに、松尾哲矢氏(立教大学副学長)をコーディネーターとしてシンポジウム(パネリスト3名)が行われ、「スポーツで人生が変わる。社会を変える。世界とつながる。未来を創る」を基本にス

スポーツ参画を拡大して「一億総スポーツ社会」の実現の為、地域スポーツを支えるスポーツ推進委員の活躍が期待される事を話されました。(池子 相川 時雄)



表彰された小南さん、おめでとうございます

第59回全国スポーツ推進委員研究協議会(鹿児島大会)

十一月十五日(木)・十六日(金)の二日間、鹿児島県鹿児島市鹿児島アリーナで全国大会が開催され、全国から3千余名のスポーツ推進委員が参加し、逗子からは相川会長、岩下、山上、上坪委員と高木の5名が参加しました。表彰式では、山口勝委員が全国スポーツ推進連合スポーツ推進委員功労者表彰を受けました。

その後の講演は「水泳と私」という演題で柴田亜衣さんの選手時代から金メダル獲得するまでの話がありました。その中で「私は他の選手と比べて能力があるわけではなく、なかなか選考会でも選ばれなかったです。私が他の選手より優れているとしたら、体が大きいことでした。」

あとは努力でオリンピック選手になり、オリンピックで金メダルを獲得する事になりました。」と話された言葉が印象に残っています。



指宿の長崎鼻なども見学 見聞も広められ、有意義な大会参加でした

翌日の分科会では「スポーツで輝く未来を笑顔に」のテーマで障がい者と健常者が共に実践できる生涯スポーツを目指してスポーツ推進委員の果たす役割について討論が交わされました。その中で日頃から障がい者の人達とのふれ合いがとても大切である事を実感致しました。

(小坪 高木 彰)



表彰された山口さん、おめでとうございます

県スポーツ推進委員研修会

十一月二十三日(祝)に三浦市総合体育館(しおかぜアリーナ)で県研修会が開催され、県から202名の参加がありました。

研修内容はボッチャと太極拳で、今回のボッチャは参加した方が審判出来るようになる為のもので、逗子はボッチャに取り組んでいる事から講師として10名の参加となりました。

当日は午前から集まり、研修部会と三浦市スポーツ推進委員の方と一緒にボッチャのコート作りを行い、研修のシミュレーションを行い、午後は一般参加の方のチームに分かれて入り、ボッチャの審判の指導を行いました。

太極拳は逗子のうみかぜクラブでも教えている方が講師をされて、短い時間でしたが二人一組になり簡単な型の体験を行いました。(小坪 佐藤 千香)



ルールの基礎を学びます

家族交流会

八月二十六日(日)毎年恒例の家族交流会。今年も34名が参加。バーベキュー用の炭に火を付ける、火おこし奉行？が何人も現れるのも恒例のスタート風景。次々に焼かれる肉や野菜に、お酒も進み、過ぎゆく夏の終わりを惜しむ？猛暑から解放される喜びの？楽しい交流会でした。



乾杯～

体力テスト会

十月八日(祝)大人のための体力テスト会が逗子アリーナで行われました。

測定項目は昨年同様、血圧測定、握力、上体おこし、長座体前屈に加え、20歳～64歳は反復横飛び・立ち幅跳び・急歩、65歳以上は開眼片足立ち・6分間歩行・10メートル障害物歩行が実施されました。

今までの数値を片手に参加された男性は「去年より今年の方が良いぞ」と普段の成果が数値として表れ、笑顔で次の項目へ行かれました。ご家族で参加された娘さんは長座体前屈にて「私、お父さんより出来ない。」と苦笑いされてました。

数値化される事で現在の状態が分かり、次への目標の目安になり、励みにもなります。



はい、もう少し曲げて～

又、ME-BYO キヤラバンも開催され、血管年齢、骨密度、足指力測定等実施されました。

高齢になっても健康的で自立した生活が出来る「健康寿命」を延ばす事。

病気になる前に病氣自体を防ぐ事の大切さを再認識し、より多くの方々がより関心を持つて参加して下さると良いな...と感じた日でした。(参加者、一般参加者24名、うみかぜ会員22名)

(沼間 児玉 豊子)

逗子市民まつり & スポーツの祭典

十月二十日(土)スポーツの祭典でビームライフル射撃(射撃競技用光線銃)を逗子アリーナ第一会議室で行いました。

ビームライフル射撃とは日本ライフル協会が開発した光線銃で10m先の標的に対して2姿勢(肘射(ちゅうしゃ)、立射(りつしゃ))で各20発撃つ競技です。

逗子にはこの設備が無い為、横須賀ライフル射撃協会より2セット借用して行いました。

私達も経験が無い為、十月四日(木)、「くりはま花の国」にあるエアライフル射撃場へ5名で研修に行き、ビームライフル射撃の扱い方を教えて頂きました。研修後、当日参加者に時間をかけずにビームライフル射撃の体験をして頂くには何をすれば良いか検討した結果、待ち時間に模擬装置で、数メートル先の的に照準を合わせる練習をしてから本番の会場に入って貰う事にしました。

スポーツの祭典では、ほとんどが初心者で又時間の関係上、肘射のみで10発射撃を行う事にしました。当日152名参加がありましたが、模擬装置と来場者の誘導が上手く行き、待ち時間もなくスムーズにビームライフル射撃の体験をして頂く事が出来ました。

来場された子供や両親。又、年配の皆様のご感想は大変面白かったとの事でした。

(小坪 神戸 幹雄)



この的を狙います

得点がここに表示されます

オリエンテーリング

十二月九日(日) 財政難で市からの助成金が出なくなり、会費値上げで捻出した予算でスポンサー独自事業として開催。

晴れの予報に反し、曇り空でちよつと肌寒い日でしたが、推進委員36人を含め120人ほどの参加者がありました。その中には未就学児を含む家族づれも8チームあり、市のホームページや地域の掲示板など新たに増やした告知を見て参加された方達もいて、PRを増やした効果が出ていました。



ちよつと寒いけど、元気に出発



その頃、役員さん達で、トン汁作りを始めてます



チェックポイント見つけた～

今回は、桜山の神明社を目指し、交流センター、そして田越川沿いを東逗子駅近くまで行き、運動公園までのコースでした。神明社は階段が200段を超えましたが、皆、無事に終わり美味しいトン汁を頂きました。

これからの課題として、隠しタイム制や、コマ地図を持って歩く、コンパスを使うなどの方法を取り入れても良いのではと思います。

(逗子 岩下 晃)

第66回市内一周駅伝競走大会

一月十三日(日) 新年恒例の「逗子市内一周駅伝競走大会」が、今年は池子の森自然公園400mトラックをスタートし、第一運動公園をゴールとした新しいコースで行われました。

今年の参加チームは地域対抗12チー



ゴールして暖かいトン汁がうれしいです



コースでの安全にも気を配ります



優勝した池子地区の選手・役員の皆さん。おめでとうございます

△、団体対抗30チームの同時スタートで42チームが健脚を競いました。
私たちの池子チームは今年3チームで参加し、Aチームが8年ぶりとなる念願の優勝を手にすることが出来ました。
池子Aチームは1区・2区で高校生、中学生在が区間賞の活躍で首位になり、3区4区を中高生の頑張りで繋ぎ、5区の高校生が区間賞の素晴らしい走り、6区は実力のあるベテランが逃げ切る展開での勝利でした。
B、Cチームは中学生とベテランでメンバー編成しました。特に逗子中学校の先生方や陸上部・野球部の生徒皆さんのご協力があり、とても感謝しております。

(池子 清水 勲)



県スポーツ推進委員会大会

二月三日(日) 秦野市文化会館において平成30年度神奈川県スポーツ推進委員会大会が開催され、逗子からは17名が参加しました。

最初に秦野観光和太鼓、神奈川県立秦野高等学校ストリートダンス部、神奈川県支部民踊連盟によるアトラクションがありました。和太鼓は7人中6人が女性でしたがとても力強く、ダンス、民踊も素晴らしかったです。

次に今年度の表彰がありました。表彰受賞者は257名。県大会に参加すると毎年多くの方がスポーツ推進に関わっている事を実感します。

最後は基調講演で、ラグビー元日本代表 今泉清さんの「聞き上手が人を動かす」でした。指導するにはコミュニケーションがとても大切で、きちんと聞く耳を持つ事、相手が話せる環境を作る事が大事だということ学びました。

会場に行く途中で「地場産・S」(ジバサンズ)に立ち寄り、地元の新鮮な野菜が買えたのは良かったです。

(桜山 澤 美咲子)

横三ブロック研修会

十月二十七日(土) 横三ブロック研修会は逗子が担当年となり、逗子アリーナ(会場はサブアリーナを使用)でボッチャの研修を行いました。4ブロックに分かれて試合を行う中、それぞれのチームのキャプテンに得点結果を確認させ、署名させるなどの得点表の付け方や、審判を実際にしてもらうなど、競技運営ができるようになる事に軸足を置いた研修会にしました。

コートの広さがバドミントンのダブルスのコートに近いことからこれを利用して、必要なラインをテープを貼ってコート作りを参加者にやつてもらいましたが、テープ



ジャックボールを渡して、試合(1つのエンド)がスタート



得点の数え方をみんなで覚えます

幅を寸法に含めるか含めないか、バドミントンコートとの寸法の違いをどこで吸収させるか等、事前の取り決め、指示伝達が不足していた様に思います。

試合運びも、1ゲームの時間を決めて、各ブロック一斉にスタートして、終了させ、次の試合の組み合わせ指示など、大会の運営を実際にやってみて、見えてきた課題などが判り、有意義な研修会となりました。

(久木 石渡 眞澄)



広報委員会

石渡眞澄・笠原恵子・峯尾尚子
相川時雄・佐藤千香・松井弘喜

発行/逗子市スポーツ推進委員協議会

事務所/逗子市役所 市民協働部文化スポーツ課
TEL/046-873-1111 (内線 277、278)
発行責任者/相川 時雄

編集後記

平成30年度は財政逼迫ですべての予算がカットされ、“さあ、どうしよう”から始まった1年でした。

でも、1年が終り“スポ推便り”を読み返すと例年以上にいろいろなことを独自に行ってきた1年だったと感じました。

(H. M)

